

歯 科 口 腔 外 科

教 授 古 田 勲
助 教 授 山 本 康 一
講 師 岩 井 正 行
助 手 沖 田 進
助 手 水 分 寿 雄
文部技官 森 川 正 俊
文部技官 前 田 清 美

◆ 原 著

1) 古田 勲：口腔癌と刺激要因一特に歯，義歯，補綴物との関連について一. The Dental 別冊 口腔腫瘍の臨床：17—23, 1986.

2) 岩井正行：舌扁平上皮癌の顕微蛍光測光法による核 DNA 量の解析とその臨床的意義. 札幌医誌 54：195—215, 1985.

3) 小西可南，諸橋正昭，古田 勲，荻田善一：全身性の hypertrichosis を伴う idiopathic gingival fibromatosis. 皮膚病臨床 7：851—854, 1985.

4) 小浜源郁，岩井正行，永井 格：口底粘膜癌. The dental 別冊 口腔腫瘍の臨床：103—112, 1985.

5) 沢本正登，沖田 進，小竹 弥，水分寿雄，杉本裕史，吉森寿美代，梶村悦朗，山本康一，古田 勲，早津良和，戸塚盛雄：富山医科薬科大学歯科口腔外科開設後 4 年間における患者の臨床統計的観察. 日口外誌 31：2269—2280, 1985.

6) 吉森寿美代，沖田 進，水分寿雄，小竹 弥，杉本裕史，真舘藤夫，古田 勲，梶村悦朗：口腔外科領域の各種感染症に対する Cefatrexyl (CEPR, Cephapirin) の臨床的検討. 基礎と臨床 19：891—899, 1985.

7) 熊谷茂宏，岩井正行：口腔扁平上皮癌の細胞動態に関する研究一顕微蛍光測光法と ^3H -thymidine オートラジオグラフィーの併用による解析一. 札幌医師 54：517—530, 1985.

◆ 総 説

1) 古田 勲：口腔，顔面軟組織損傷の処置. 歯科ジャーナル 22：155—161, 1985.

2) 古田 勲：膿瘍の切開—メスとドレーンの使い方—. 歯科ジャーナル 22：495—500, 1985.

◆ 学会報告

1) 水分寿雄，山本康一，古田 勲：腺様歯原性腫の 1 例. 第 3 回口腔腫瘍懇話会，1985，1，別府.

2) 岩井正行，小浜源郁，熊谷茂宏，園田智子：舌扁平上皮癌の DNA ヒストグラムパターンと BLM 効果および予後. 第 3 回口腔腫瘍懇話会，1985，1，

別府.

3) 岩井正行，小浜源郁：舌扁平上皮癌の顕微蛍光測光法による核 DNA 量の解析のその臨床的意義. 第 9 回日本頭頸部腫瘍学会，1985，4，東京.

4) 沖田 進，山本康一，小竹 弥，真舘藤夫，古田 勲，沢本正登，石崎良夫：歯肉に発生した悪性黒色腫の 2 例. 第 39 回日本口腔科学会総会，1985，5，仙台.

5) 水分寿雄，杉本裕史，山本康一，田中 貢，古田 勲：腺様歯原性腫瘍の 1 例. 第 39 回日本口腔科学会総会，1985，5，仙台.

6) 杉本裕史，吉森寿美代，水分寿雄，小竹 弥，沖田 進，古田 勲，沢本正登：下顎骨に発生した巨大な類表皮嚢胞の 1 例. 第 10 回日本口腔外科学会中部地方会，1985，6，金沢.

7) 梶村悦朗，古田 勲，水分寿雄，真舘藤夫，河合宏一，小林 信，三島純子，山田 耕，岡野秀成：舌運動障害により，1 年後に見い出された舌口腔底ガラス片迷入の 1 例. 第 10 回日本口腔外科学会中部地方会，1985，6，金沢.

8) 古田 勲，吉森寿美代，水分寿雄，小竹 弥，沖田 進：全身的な hypertrichosis を伴った idiopathic gingival fibromatosis の 1 例. 第 4 回北陸頭頸部腫瘍懇話会，1985，7，福井.

9) 沖田 進，古田 勲，小竹 弥，真舘藤夫，山本康一，沢本正登，石崎良夫：歯肉に原発した悪性黒色腫の 2 症例. 第 4 回北陸頭頸部腫瘍懇話会，1985，7，福井.

10) 真舘藤夫，杉本裕史，斎藤 進，山田隆寛，佐藤秋絵，細川史郎，水分寿雄，小竹 弥，吉森寿美代，古田 勲：急性な憎悪を示した若年者の上顎癌の 1 例—腫瘍性疾患の臨床統計をふまえて—. 第 4 回北陸頭頸部腫瘍懇話会，1985，7，福井.

11) 水分寿雄，沖田 進，岩井正行，新川いくみ，古田 勲，沢本正登：結核性頸部リンパ節炎の 1 例. 第 39 回北陸医学会総会（第 5 回臨床口腔外科北陸地方会），1985，9，福井.

12) 山田隆寛，吉森寿美代，上田美保子，太田真治，小林 信，古田 勲：大理石病に併発した上顎腐骨の 1 例. 第 39 回北陸医学会総会，1985，9，福井.

13) 斎藤 進，真舘藤夫，小竹 弥，三島純子，吉田季彦，古田 勲：大白歯部舌側に生じた広範な下顎骨隆起の 1 例. 第 39 回北陸医学会総会，1985，9，福井.

14) 細川史郎，沖田 進，岩井正行，牧野 明，河合宏一，古田 勲：口蓋粘膜骨膜弁により閉鎖し

た上顎欠損症例。第39回北陸医学会総会，1985，9，福井。

15) 佐藤秋絵，杉本裕史，吉森寿美代，山田 耕，岡野秀成，古田 勲，梶村悦朗：下口唇癌再建の1例。第39回北陸医学会総会，1985，9，福井。

16) 水分寿雄，杉本裕史，吉森寿美代，星野照宗，古田 勲：下顎に発生した巨大な歯牙腫の2例。第30回日本口腔外科学会総会，1985，9，東京。

17) 岩井正行，永井 格，熊谷茂宏，小浜源都：口底癌の臨床病理学的検討。第30回日本口腔外科学会，1985，9，東京。

18) 山田隆寛，吉森寿美代，牧野 明，吉田季彦，小林 信，古田 勲：大理石骨病に併発した上顎腐骨の1例。第28回日本口腔科学会中部地方会，1985，10，富山。

19) 真舘藤夫，細川史郎，佐藤秋絵，山田隆寛，斎藤 進，吉森寿美代，杉本裕史，小竹 弥，水分寿雄，沖田 進，岩井正行，古田 勲：当科における上顎悪性腫瘍の臨床的観察。第28回日本口腔科学会中部地方会，1985，10，富山。

20) 小竹 弥，古田 勲，沖田 進，杉本裕史，岩井正行：Malignant Melanomaに関する研究 第二報 電顕ならびに細胞動態学的所見。第28回日本口腔科学会中部地方会，1985，10，富山。

21) 早津良和，蓮井義則，水谷邦秀，篠崎文彦，吉森寿美代，沖田 進，古田 勲：口腔内症状を初発とした特発性血小板減少性紫斑病の2例。第28回日本口腔科学会中部地方会，1985，10，富山。

22) 佐藤秋絵：富山医科薬科大学歯科口腔外科外来患者の臨床統計。第2回富山歯科口腔外科懇話会，1985，11，富山。

23) 斎藤 進：大臼歯舌側に生じた広範な下顎骨隆起の1例。第2回富山歯科口腔外科懇話会，1985，11，富山。

24) 杉本裕史：下顎骨に発生した巨大な歯原性角化嚢胞の1例。第2回富山歯科口腔外科懇話会，1985，11，富山。

25) 水分寿雄：結核性頸部リンパ節炎の1例。第2回富山歯科口腔外科懇話会，1985，11，富山。

26) 水分寿雄：Adenomatoid odontogenic tumorの1例。第2回富山歯科口腔外科懇話会，1985，11，富山。

27) 真舘藤夫：厚朴のウ蝕抑制効果について。第2回富山歯科口腔外科懇話会，1985，11，富山。

28) 細川史郎：口蓋粘膜骨膜弁により閉鎖した上顎欠損症例。第2回富山歯科口腔外科懇話会，1985，11，富山。

29) 細川史郎：富山医科薬科大学歯科口腔外科入院患者の臨床統計。第2回富山歯科口腔外科懇話会，1985，11，富山。

30) 真舘藤夫：口腔癌の臨床病理学的観察。第2回富山歯科口腔外科懇話会，1985，11，富山。

31) 沖田 進：Malignant melanoma の2例。第2回富山歯科口腔外科懇話会，1985，11，富山。

32) 小竹 弥：Malignant melanoma の組織培養所見。第2回富山歯科口腔外科懇話会，1985，11，富山。

33) 岩井正行：舌癌の顕微鏡蛍光測光法による核DNA量の解析とその臨床的意義。第2回富山歯科口腔外科懇話会，1985，11，富山。

34) 古田 勲：口唇癌再建の2例。第2回富山歯科口腔外科懇話会，1985，11，富山。

◆ その他

1) 古田 勲：楽しく簡便な歯科小手術法とその実際。昭和59年度第2回富山県歯科学術研修会，1985，2，富山。

2) 古田 勲，吉森寿美代，水分寿雄，小竹 弥，沖田 進：全身的なhypertrichosisを伴ったidiopathic gingival fibromatosisの1例。医薬の門 25（臨時増刊号 第4回北陸頭頸部腫瘍懇話会）245，1985。

3) 岩井正行，小浜源都：舌扁平上皮癌のDNAヒストグラムパターンとBLM効果および予後。第3回口腔腫瘍懇話会 61—62，1985。

4) 沖田 進，杉本裕史，真舘藤夫，山本康一，古田 勲：口腔外科領域におけるクリニミールの使用経験。富山県クリニミール研究会記録集 1—5，1985。

5) 沖田 進，古田 勲，小竹 弥，真舘藤夫，山本康一，沢本正登，石崎良夫：歯肉に原発した悪性黒色腫の2例。医薬の門 25（臨時増刊号 第4回北陸頭頸部腫瘍懇話会）246—247，1985。

6) 真舘藤夫，杉本裕史，斎藤 進，山田隆寛，佐藤秋絵，細川史郎，水分寿雄，小竹 弥，吉森寿美代，古田 勲：急性な憎悪を示した若年者の上顎癌の1例—腫瘍性疾患の臨床統計をふまえて—。医薬の門 25（臨時増刊号 第4回北陸頭頸部腫瘍懇話会）257—258，1985。

7) 水分寿雄，杉本裕史，田中 貢，山本康一，古田 勲：腺様歯原性腫瘍の1例。第3回口腔腫瘍懇話会記録 18，1985。

8) 古田 勲：口腔病変と歯科衛生士の役割。昭和60年度歯科衛生士卒後研修会，1985，9，富山。

9) 岩井正行：全身疾患と歯科治療の関連。第2

回富山県歯科衛生士研修会講演, 1985, 11, 富山.

10) Iwai M., Kohama G.: Clinical significance of nuclear DNA content of oral carcinoma. Eighth international congress of oral surgery, 55—61, 1985.

和 漢 診 療 部

助 教 授 寺 澤 捷 年
助 手 土 佐 寛 順
助 手 檜 山 幸 孝

◆ 著 書

1) 寺澤捷年: 循環器疾患の漢方治療. 「循環器内科治療ハンドブック」稲垣義明他編, 169—176, 南山堂, 1985.

2) 寺澤捷年: 神経系. 「臨床医の漢方治療指針」長谷川弥人他編, 319—356, メジカルビュー社, 1985.

3) Kumagai A., Terasawa K.: The Scientific Identification of Kampo 'SHO', In HERBAL MEDICINE: KAMPŌ, Past and Present, by Taro Takemi, etc. (Ed.), 66—67 TSUMURA JUNTENDO, INC, 1985.

4) 寺澤捷年: 日本の現代医療における中国伝統医学の役割. 「今日のアジア伝統医学」織田敏次他編, 32—38, Excerpta Medica, 1985.

5) 寺澤捷年: 「現代の漢方治療」大塚恭男, 鍋谷欣市, 有地 滋, 寺澤捷年編, 288—315, 東洋学術出版社, 1985.

6) 寺澤捷年訳: 「神経内科治療マニュアル」Martin A. Samuels 編, 17—34 327—384, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 1985.

◆ 原 著

1) Tokunaga A., Sugita S., Otani K., Terasawa K.: Quantitative Morphological Changes in the Superior Colliculus and the Parabrachial Nucleus in the Bilaterally Microphthalmic Rat, Developmental Brain Research 23: 131—140, 1985.

2) Sugita S., Tokunaga A., Otani K., Terasawa K.: Ascending Projections to the Lateral Thalamic Nuclei from the Substantia Nigra Centralis in the Rat: a Retrograde WGA-HRP Study, Neuroscience Research 2: 186—199, 1985.

3) 鳥居塚和生, 寺澤捷年, 本間精一, 足立伊左雄, 中川輝昭, 堀越 勇: 桂枝茯苓丸の製剤学的検

討—煎剤および丸剤の成分比較—, 日本東洋医学雑誌 35: 185—189, 1985.

4) 土佐寛順, 寺澤捷年, 今田屋章: 心下痞鞭とその関連症状に関する研究. 日本東洋医学雑誌 36: 159—164, 1985.

5) Terasawa K., Torizuka K., Bandow M., Imadaya A., Tosa H.: Effects of medicinal plants on the metabolism of platelet arachidonic acid, 和漢医薬学会誌 2: 310—316, 1985.

6) Terasawa K., Tosa H.: A Case of Chronic Hepatitis with Development of Carcinoma of Gall Bladder Observed During Treatment with Traditional Chinese Medicine. 日本東洋医学雑誌 36: 101—106, 1985.

7) 今田屋章, 寺澤捷年: 白通湯が奏効した水瀉性下痢の一例. 日本東洋医学雑誌 35: 273—278, 1985.

8) 寺澤捷年, 土佐寛順, 坂東みゆ紀, 今田屋章, 檜山幸孝: 胃内停水の研究(第2報). 日本東洋医学雑誌 36: 1—6, 1985.

9) Terasawa K., Imadaya A.: Therapeutic Effect of Sino-Japanese (Kampoh) Medicine on Rheumatoid Arthritis. J. 3 Med. Pharm. WAKAN-YAKU 2: 438—444, 1985.

◆ 総 説

1) 寺澤捷年: 関節痛. 内科 56: 893—895, 1985.

2) 寺澤捷年, 熊谷 朗: 喘息治療と和漢方剤, Pharma Medica 3, 67—72, 1985.

3) 寺澤捷年: 喘息の治療—漢方薬による治療—, 現代医療 17: 2226—2231, 1985.

4) 寺澤捷年: 血小板アラキドン酸代謝に及ぼす和漢薬の効果—血小板凝集能MDA値の変動—, Therapeutic Research 2: 1055—1061, 1985.

5) 寺澤捷年: 慢性関節リウマチの和漢薬による治療. Therapeutic Research 3: 552—554, 1985.

6) 寺澤捷年: めまい・平衡障害と和漢薬治療. Equilibrium Res 44: 14—22, 1985.

7) Terasawa K.: The role of traditional Chinese medicine in contemporary health care in Japan. Proceedings of Symposium 9 and Satellite Symposium 8 of the 17th International Congress of Internal Medicine: 46—54, 1985.

◆ 学会報告

1) 寺澤捷年: 不定愁訴症候群の臨床比較試験に関する研究. 「証, 経穴の科学的実証及び生薬資源の確保に関する研究」シンポジウム: 科学技術庁,